

# 東京ミッドタウン日比谷

2017年9月17日

約60の店舗が2018年3月29日にオープン



## 1. 街づくりの考え方

### ■時代をリードする街、そして「芸術文化・エンターテインメントの街」日比谷

明治以降、日比谷は常に近代化をリードする進取の精神に満ちたエリアでした。国賓や外交官をもてなすために明治政府が作った社交場の鹿鳴館や日本の迎賓館として誕生した帝国ホテルが建ち並び、大人のための社交や寛ぎの時空間を叶える場として、日比谷は進化してきました。日比谷の街の上質で国際的なホスピタリティ溢れる佇まいは、まさに交流や迎賓の地に相応しいものだったと言えます。

また日比谷には、“音楽の聖地”とされた「日比谷公会堂」や「東京宝塚劇場」「日比谷映画劇場」「有楽座」などの劇場・映画館が建ち並び、昔から芸術文化・エンターテインメントの関係者、愛好者で賑わう場所です。現在にも息づくこれらの土地の歴史こそが、さらなる魅力的な街へと進化する大切な要素であると考えます。



▲帝国劇場



▲日生劇場



▲鹿鳴館（現・NBF日比谷ビル）



▲日比谷シャンテ



▲シアタークリエ



▲帝国ホテル(開業時)



▲帝国ホテル



▲東京宝塚劇場(建替前)



▲東京宝塚劇場